



下大竹だより

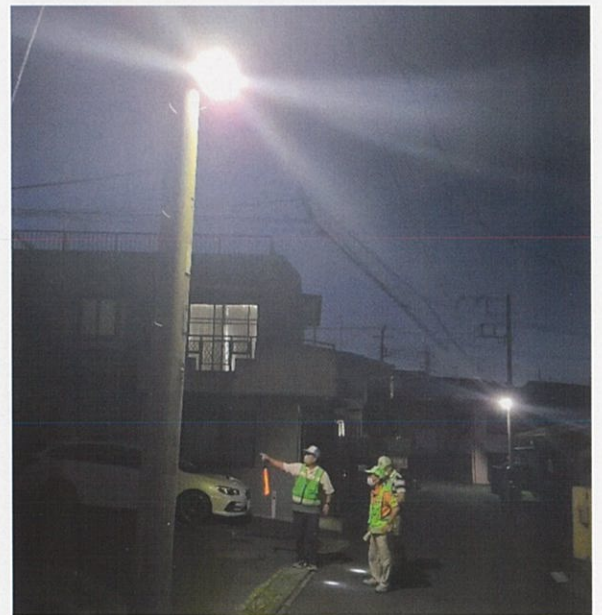
第65号
発行:下大竹自治会
発行日:
2021年11月1日

回覧

下大竹自治会上半期活動報告



▲ポイ捨てパトロール



▲防犯パトロール



▼カーブミラー木枝切り



4月	10日(土)	総会資料まとめ
	11日(日)	総会<中止> 集会所管理委員会
	22日(木)	防犯パトロール
	25日(日)	南地区自治会長会議(会長対応)
5月	1日(土)	4月度定例役員会 下大竹だより 第64号発行
	22日(土)	防犯パトロール
	25日(火)	南地区自治会長会議(会長対応)
	26日(水)	ポイ捨てパトロール
	27日(木)	いせはら未来っ子クラブ開校式(会長対応)
	28日(金)	集会所の今後の対応会議
	29日(土)	5月度定例役員会
6月	6日(日)	関連役員懇親会<中止>
	19日(土)	関連団体に交付金支給
	22日(火)	防犯パトロール<中止>
	25日(金)	南地区自治会長会議(会長対応)
	26日(土)	6月度定例役員会
7月	10日(土)	部長会議 自治会所有備品台帳まとめ
	11日(日)	組長説明会<中止>
	21日(水)	防犯パトロール
	23日(金)	集会所建て替え打合会議
	25日(日)	南地区自治会長会議(会長対応)
	31日(土)	7月度定例役員会
8月	7日(土)	自治会納涼まつり<中止>
	11日(水)	集会所建て替え打合会議
	22日(日)	防犯パトロール
	25日(水)	南地区自治会長会議(会長対応)
	28日(土)	8月度定例役員会
9月	4日(土)	自治会防災訓練<中止>
	15日(水)	ポイ捨てパトロール
	18日(土)	第1回集会所建設委員会
	19日(日)	敬老の日お届け品配布
	22日(水)	防犯パトロール
	24日(金)	赤坂地区カーブミラー木枝切り
	25日(土)	南地区自治会長会議(会長対応)
10月	2日(土)	9月度定例役員会

史跡と文化財のまち いせはら

八幡台遺跡から岡崎城跡へ①

千手ヶ原

伊勢原駅前から平塚へ通ずる道路の西方に八幡台(はちまんたい)の台地が見える。台地の手前には、伊勢原のもの呼び名であった「千手ヶ原(せんじゅがはら)」の名残りと考えられる「千津(せんづ)」や「千手窪(せんじゅくぼ)」の名が残されている。この千手窪からはその昔、千手観音像が掘り出されたという言い伝えがあり、駅北側の大宝寺(たいほうじ)本堂に安置されている千手観音立像がそれであるという。この像は調査の結果、室町時代のものであることが明らかになった。また、八幡台台地の中腹にある自徳院(じとくいん)は、大宝寺と同じく山号を千手山(せんじゅさん)という。ともに伊勢原の旧名にちなんでおり、この地域との古くからの結びつきを感じさせる。

大宝寺や自徳院がある地域を今は

「東大竹」と呼ぶが、戦国時代のころは駅の南側一帯を「大竹郷(おおだけごう)」と呼んだらしい。「大竹」は本来「大嶽」であるといい、高い山のことを意味する。すなわち、ここは相模国の御岳(みたけ)である大山を最も美しく眺められる場所なのである。伊勢原市には東大竹が、秦野市には西大竹があり、ともに大山を遙拝(ようはい)する絶好の場所である。『万葉集』巻一四に収められた東歌(あずまうた)の俣(ま)ばれるところである。

相模峰の小峰見すぐし 忘れ来る

妹が名呼びて 吾を哭し泣くな

八幡台遺跡

八幡台台地は、北に大山・丹沢の群峰を控え、西に富士・箱根の連山、南に余綾高麗山(よろぎこまやま)の連峰を巡らし、はるかに相模灘の銀波を望み得る景勝の地である。今では八幡台住宅団地を中心に関静な住宅地となっているが、昭和37年(一九六二)ごろまでは視界をさえぎるもの

もない一面の畑で、春は麦畑に雲雀(ひばり)の声を聞き、秋はとうもろこしの葉ずれの音が、さわやかな風に運ばれて聞こえたところであった。

昭和7年、この台地上から縄文時代の敷石住居跡が発見され、断続的な発掘調査の後、「八幡台石器時代住居跡」として国の指定史跡となった。戦後も幾度となくこのあたりの発掘調査が行われ、広い範囲にわたって縄文時代の遺跡が広がっていることがわかってきた。今もなお、三、四千年前のむらの跡が発見され続けており、さらにそれを遡る旧石器時代の石器群も見つかっている。一万数千年もの昔から、この地は人々の生活に適した場所だったのである。

史跡周辺の山王塚公園は、春には桜やつつじに包まれる憩いの場所となる。

今回は、八幡神社と光明院

抜粋 伊勢原市教育委員会 発行

「史跡と文化財のまち いせはら」